

生徒諸君へ
保護者の皆様へ

SNS の利用について

近年、スマホやタブレット端末の普及により、インターネットが非常に身近になっています。なかでも、Twitter、Facebook、Google+、LINE、mixi、GREE、Mobage、Ameba などの SNS (Social Networking Service) は一度に多くの人から情報収集でき、また、一度に多くの人へと情報発信できるツールとして非常に便利なものです。しかしその反面、利用方法をひとつ間違えると非常に大きなトラブルに発展してしまう危険性をはらんでいます。

よって、生徒諸君が SNS の利便性と危険性の双方を十分理解した上で、安全で適切な利用ができるよう、本校からは以下のような点について注意喚起します。

以下の **×禁止!!**、**△注意!**、**◎対策** を読み、その内容を十分に理解して下さい。なお、**×禁止!!**、**△注意!** の項目に反する利用が発覚した場合、学校から個別の指導を行うことがあります。

×禁止!!

- ① 不特定多数が閲覧できる状態での個人情報（氏名、学校、住所、電話番号、メールアドレス、LINE の ID、顔写真、位置情報など）の投稿。
- ② 特定の個人、企業、組織、団体を誹謗中傷する投稿。
- ③ 他人のプライバシーを侵す投稿。
- ④ なりすまし行為。
- ⑤ 反社会的行為、法律で禁止されている行為（飲酒、喫煙、暴力行為、暴走行為等）やその投稿。
- ⑥ その他、社会的モラルに反する行為やその投稿。

△注意!

- ① 不特定多数の閲覧について
不特定多数の人が閲覧できる状態（いわゆる“カギ無し”、“パス無し”の状態）にしておくと、日常生活のどこかであなたに興味を持ったあなたの知らない誰かが、悪意を持ってあなたのページを探し出し、閲覧している可能性があります。
知られたくない事が知られ、見られたくないものが見られてしまう可能性について、常に考えておくこと。
- ② なりすましの可能性について
SNS 上で出会った 相手が性別、年齢、名前等の情報を詐称している可能性について常に考えておくこと。
- ③ 情報の しんびょうせい 信憑性について
SNS 上に掲載されている情報は必ずしも正しいものばかりではありません。不確かな情報を安易に拡散することは、自らが加害者にもなり得る非常に危険な行為です。不確かな情報やデマに踊らされることの無いよう、正しい情報を見極められる目と技術を身につけましょう。
- ④ 投稿には責任を持つ
面白半分で非常識な投稿をしたり、一時の感情にまかせて不用意な投稿をしたりすると、あなた自身が特定され誹謗中傷されるだけでなく、場合によっては家族、友人、学校や職場までその被害が及ぶ可能性があります。あなたの氏名、所属、住所等を掲載していなくても、警察やある程度の知識・技能をもつ人は、あなた個人が特定できます。ネット上で守るべきルールは、現実社会で守るべきルールと同じです。投稿する前にはその内容を確認し、慎重に利用しましょう。

◎対策

- ① 実際に会ったことのない人と SNS 上でむやみにつながらない。
顔の見えないネット上では、なりすまし、偽装が簡単です。 面識のない人と安易につながらないようにしましょう。
- ② 位置情報等を公開する設定を解除する。
短文や写真等を投稿する際、自動的に位置情報を併せて投稿する設定になっている場合があります。住所や電話番号を掲載していなくても、その情報だけで自宅や学校が特定されてしまうケースがあり、非常に危険です。
- ③ SNS 上で使って良い言葉は、実際に面と向かって言える言葉だけ。
他人を誹謗中傷するような投稿を見て喜ぶ人はいません。なにより、そのような投稿を見て、誰も得をしません。そのような投稿は、場合によっては 名誉毀損罪^{めいよきそんざい}や侮辱罪^{ぶじよくざい}等に該当し、訴訟^{そしょう}・賠償^{ばいしょう}等に発展する場合があります。
- ④ 将来、あなたの親、兄弟姉妹、親戚、結婚相手、子供、勤務先…に見られても良い投稿だけに
する。
ネット上に流れた情報は、永久に取り消せません。そして、その情報は瞬時に世界中に拡散します。アカウントを削除しても、投稿した情報は残ります。将来、誰に見られることがあっても良いような内容だけにしましょう。
- ⑤ 自分のアカウントや投稿に“カギ”をつける。
不特定多数の人による閲覧を避けるため、友達・フォロワーだけが閲覧できる設定やパスワード等が無いと閲覧できない設定にしておく。そのアカウントやパスワードは実際に会ったことのある親しい人にだけ教えること。

このほか、YouTube、ツイキャス、Vine などの動画配信・共有サービスの利用はその性質上、非常にリスクが高いため個人が特定される状態や不特定多数が閲覧できる状態での利用は絶対にしないこと。

保護者の皆様へ！

お子様が SNS を利用しているかどうかについて、ご確認いただき、利用状況を把握して下さい。

また、利用の有無にかかわらず、その利便性と危険性について、是非一度、ご家庭でもよくお話し合い頂きますようお願い致します。